

名品セレクション

Masterpieces of European Paintings

【藤原浜雄(Vn)&三上桂子(Pf) ～ベストカップルが奏でる“華麗なるデュオリサイタル”】

日時： 2007年 12月 2日 (日) 13:30～14:30
会場： 東京富士美術館 ロビー

出演： 藤原浜雄(ヴァイオリン) 三上桂子(ピアノ)

内容： 読売日本交響楽団首席ソロコンサートマスターと桐朋学園音楽大学教授ピアニストによる“日本一の夫婦デュオ”リサイタル。日本を代表するベストカップル演奏家が奏でる、珠玉の名曲をお楽しみください。

曲目： ベートーヴェン／ヴァイオリンソナタ第8番ト長調 op.30-3、
ドビュッシー／前奏曲集より「亜麻色の髪のおとめ」「花火」、
ショパン／スケルツォ第2番 変ロ短調 op.30、サン＝サーンス／序奏とロンド・カプリッチョーソ op.28

◆藤原 浜雄 (ふじわら はまお) ヴァイオリニスト

日本を代表するヴァイオリニスト。1947年生まれ。3歳より旧東京音楽学校出身の母にヴァイオリンの手ほどきを受け、その後、桐朋学園音楽科にて鷺見三郎、江藤俊哉、海野義雄、斎藤秀雄の各氏、アメリカ・ジュリアード音楽院にてジョーゼフ・フックス氏に師事。

1962年全日本学生音楽コンクール1位、67年日本音楽コンクール1位。68年イタリア・パガニーニ国際ヴァイオリンコンクール2位、71年ベルギー・エリザベート王妃国際音楽コンクール3位銀賞を受賞し、国際デビューを果たす(いずれも当時の日本人最高位)。

ジュリアード音楽院留学以来20年以上にわたりアメリカに居を構え、ソロ・室内楽ほか多方面において活躍。中でも、1971年昭和天皇・皇后両陛下ご訪欧の際、ベルギー政府主催歓迎演奏会にて御前演奏、72年、20世紀屈指の巨匠ヴァイオリニスト、ナタン・ミルシュタインの代役として、ロチェスターフィルハーモニー管弦楽団と共演し、アメリカでのオーケストラ・デビュー等は特筆に値する。

ジュリアード音楽院、マンハッタン音楽院、ミシガン大学音楽学部で後進の育成にも尽力。

92年帰国し、読売日本交響楽団首席ソロ・コンサートマスターに就任。現在、桐朋学園大学院大学教授・研究科長、東京音楽大学客員教授も務め、多くの逸材を輩出。

日本屈指のヴァイオリニストとして、その“円熟の響き”は益々輝きを増している。



Photo 小島由起夫

◆三上 桂子 (みかみ かつらこ) ピアニスト

札幌市出身。4歳より遠藤道子氏にピアノを習い始め、のち桐朋学園音楽科にて井口秋子氏、フランス国立パリ音楽院にてヴラド・ペルルミュテール氏、アメリカ・ジュリアード音楽院にてサッシャ・ゴロニツキー氏に師事。

1964年全日本学生音楽コンクール1位。65年日本音楽コンクール1位。67年パリのロン・ティボー国際コンクール特別賞ほか海外での賞も数々受賞。

1978年カーネギーリサイタルホールにてデビューし、「驚嘆のテクニック、エレガントにして情熱的な音楽センス」「繊細にして宝石のような音の華やかさ」(ニューヨーク・タイムズ)等、絶賛される。以来、ニューヨークを拠点にソロリサイタル、協奏曲、室内楽、録音など、アメリカ、ヨーロッパ、日本で幅広く活躍。

ヴァイオリンの巨匠ジョーゼフ・フックス氏(ジュリアード音楽院元教授)の晩年には、その殆どのコンサートで共演した。メイン州立大学、ニューヨーク州アルフレッド大学などで夏期音楽講座の講師も長年務めた。

92年帰国し、演奏活動の傍ら93年より桐朋学園大学にて教鞭を取り、優秀なピアニストを数多く育成。30余年にわたる藤原浜雄(Vn)とのデュオリサイタルも好演を続けている。

国際音楽祭「ユーロ・ミュージックフェスティバル」には、アーティスト、講師として毎年招聘されている(04年チェコ・プラハ、05～07年ドイツ・ライプツィヒ)。

現在、桐朋学園大学教授。

